

※ まず、大学に申請書類一式（出願要領に記載）を提出し、入力に必要なID・パスワードを受け取ってください。
※「奨学金確認書兼地方税同意書」に記載の「申込ID」「初期パスワード」では入力に進むことはできません。

2026年 秋 日本学生支援機構奨学金 記入日： 2026 年 月 日

奨学金申込書

◆：必須項目
◎：該当者のみ

◆枠内に申込者本人が記入してください。

学籍番号		生年月日	年	月	日
氏名	カナ	電話番号	携帯	()	
			自宅	()	

◆新規申込を希望する奨学金について✓を記入してください。（既に持っている奨学金には✓を入れないで下さい）

【高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）の新規申込み】 ※多子世帯支援を含む	
☐ 高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）を希望します。	給付奨学金

【貸与奨学金の新規申込み】	1つ選択してください。 ※(4)(12)は欠番です。
・第一種奨学金または第二種奨学金のどちらかを新規申請する人は以下の中から選択してください。 ☐ (1) 第一種奨学金のみ希望します。 ☐ (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。 ☐ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 ・併用貸与（第一種・第二種両方）で新規申請する人は以下の中から選択してください。 ☐ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ☐ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ☐ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ・現在奨学金の貸与をすでに受けている人は以下の中から選択してください。 ☐ (8) 第二種奨学金の貸与を受けているが、第一種奨学金への変更を希望します。 ☐ (9) 第一種奨学金の貸与を受けているが、第二種奨学金への変更を希望します。 ☐ (10) 第一種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望します。 ☐ (11) 第二種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望します。 ☐ (13) 第一種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。 ☐ (14) 第二種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。	
上記(8)・(9)・(10)・(11)・(13)・(14)を選択した人は右欄に奨学生番号を記入してください。	

◎現在持っている日本学生支援機構の奨学生番号があれば記入してください。（上記以外）

①				0	4						
②				0	4						

◆奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。※箇条書きは不可です。

◆黄緑色の封筒の「奨学金確認書 兼 地方税同意書」に記載されている「スカラネット（インターネット）奨学金申込用」申込IDと初期パスワードを転記してください。

申込ID	ZD26	初期パスワード	
------	------	---------	--

◎高等教育の修学支援新制度(給付奨学金・授業料減免)を申請する方は、以下の項目を記入してください。

【資産額】現金及びこれに準ずるもの

本人	万円
生計維持者①	万円
生計維持者②	万円

※入力時必要となりますので、各自確認しておいてください

下記の国費で受給中（受給予定）のものが**あるかないか**に○をしてください。

※国費受給中は、給付奨学金の振込が0円となります。

- ・教育訓練支援給付金
- ・訓練延長給付金、技能習得手当（受講手当、通所手当）、寄宿手当
- ・職業訓練受講給付金ひとり親家庭の親を対象とする給付金
- ・高等職業訓練促進給付金

ある ・ ない

◎貸与奨学金を申請する方は、以下の各項目について希望するものに☑を入れてください。

【第一種奨学金（貸与/無利子）】

【希望月額】

【大学】		【短大】	
自宅	自宅外	自宅	自宅外
☐ 54,000円	☐ 64,000円	☐ 53,000円	☐ 60,000円
☐	☐ 50,000円	☐	☐ 50,000円
☐ 40,000円	☐ 40,000円	☐ 40,000円	☐ 40,000円
☐ 30,000円	☐ 30,000円	☐ 30,000円	☐ 30,000円
☐ 20,000円	☐ 20,000円	☐ 20,000円	☐ 20,000円

※給付奨学生で第一種奨学金の自宅外月額を希望する場合は、給付奨学金の自宅外通学が認められている必要があります。

どちらかに✓を入れてください

【返還方式】

☐ 所得連動方式	☐ 定額返還方式
---------------------------------	---------------------------------

【保証制度】

☐ 機関保証	☐ 人的保証
-------------------------------	-------------------------------

※所得連動の場合は機関保証のみです

【第二種奨学金（貸与/有利子）】

【希望月額】

☐ 20,000円	☐ 50,000円	☐ 80,000円	☐ 110,000円
☐ 30,000円	☐ 60,000円	☐ 90,000円	☐ 120,000円
☐ 40,000円	☐ 70,000円	☐ 100,000円	

どちらかに✓を入れてください

【利率の算定方法】

☐ 利率固定方式	☐ 利率見直し方式
---------------------------------	----------------------------------

【保証制度】

☐ 機関保証	☐ 人的保証
-------------------------------	-------------------------------

◎【貸与奨学金】保証制度について記入してください（機関保証か人的保証）

【機関保証を選択した方：本人以外の連絡先の情報】

※機関保証で採用された後は、人的保証に変更することはできません。

氏名		生年月日	西暦	年	月	日	続柄	
住所	〒						電話番号	自宅： 携帯：

【人的保証を選択した方：連帯保証人・保証人の情報】

連帯保証人（原則父母どちらか）の情報									
氏名		生年月日	西暦	年	月	日	続柄		
住所	〒						電話番号	自宅： 携帯：	
勤務先名		勤務先電話					無職は	☒	☐
保証人（父母以外4親等以内の親族 等）の情報									
氏名		生年月日	西暦	年	月	日	続柄		
住所	〒						電話番号	自宅： 携帯：	
勤務先名		勤務先電話					無職は	☒	☐

◆ あなたについて記入してください

現住所	〒		通学形態について	
			☐ 自宅通学	☐ 自宅外通学
国籍	☐ 日本国籍 ☐ 日本国籍以外 		自宅外を選択した方は当てはまるものに✓を入れてください	
在留資格	()		☐ 実家から大学までの通学距離が片道60km	
国内の高等学校を卒業していますか			☐ 実家から大学までの通学時間が片道120分以上	
☐ はい → 最初に高等学校を卒業した年月			☐ 実家から大学までの通学費が月1万円以上	
西暦 年 月			☐ 実家から大学までの通学時間が片道90分以上で 利用できる交通機関が1時間に1本以下	
☐ いいえ → 入学前の履歴はどちらですか			☐ その他やむを得ない事情（入寮の義務を含む）	
☐ 高等学校卒業程度認定試験合格 ☐ その他			事情を記入： []	
最終学歴	西暦 年 月 卒業または退学 ○中学校 ○高等学校 ○高等専門学校 ○短期大学 ○大学 ○大学院 ○専修学校(高等課程) ○専修学校(専門課程)			
振込口座について（本人名義のみ） ※通帳のコピーまたはそれに代わるものを添付してください				
口座名義			カナ氏名	
ゆうちょ	記号：	ゆうちょ 以外	金融機関名：	
	番号：		口座番号（右づめ記入）：	
			支店名：	

◆ 生計維持者について記入してください ※生計維持者は原則あなたの父母です。仕事の有無は関係ありません

【生計維持者①】

氏名	カナ	生年月日	西暦 年 月 日	続柄	
住所	〒	電話番号	自宅： 携帯：		
2026年1月1日時点の生活保護受給		あり ・ なし	2026年1月1日時点の日本国内居住		はい ・ いいえ
第一種奨学金申込者のみ回答		2025年1月2日以降に転職しましたか 転職が「はい」の場合、再審査を希望しますか		はい ・ いいえ 希望する ・ 希望しない	

【生計維持者②】

氏名	カナ	生年月日	西暦 年 月 日	続柄	
住所	〒	電話番号	自宅： 携帯：		
2026年1月1日時点の生活保護受給		あり ・ なし	2026年1月1日時点の日本国内居住		はい ・ いいえ
第一種奨学金申込者のみ回答		2025年1月2日以降に転職しましたか 転職が「はい」の場合、再審査を希望しますか		はい ・ いいえ 希望する ・ 希望しない	

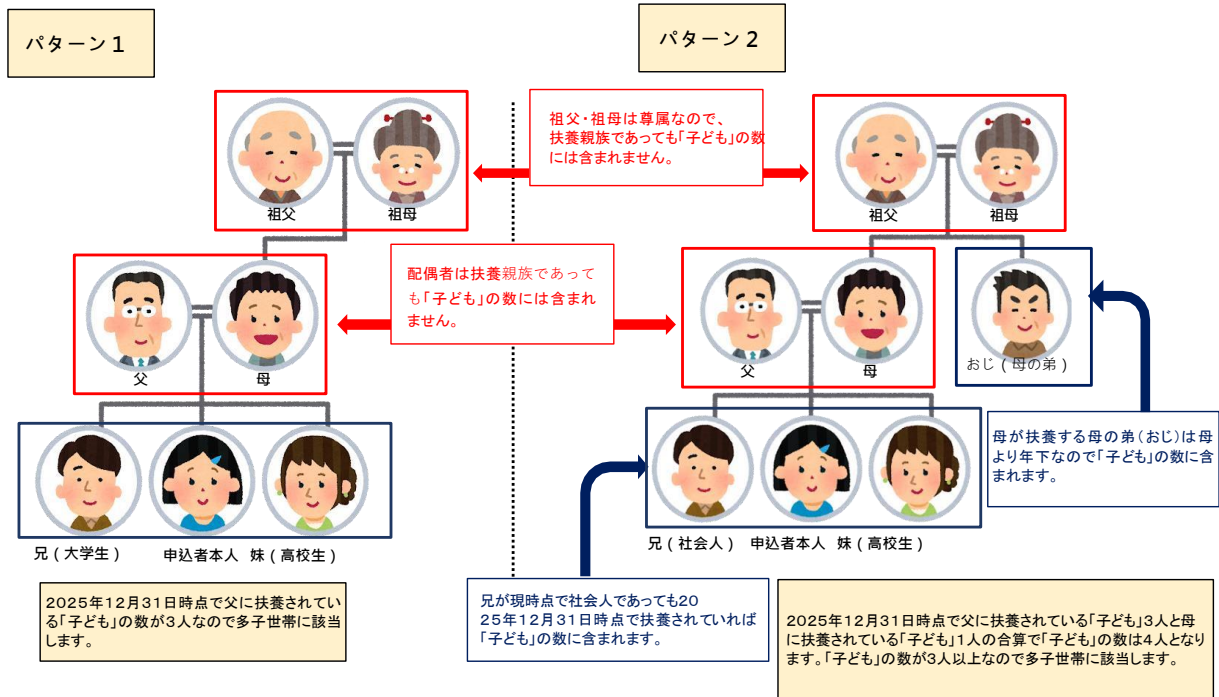
* 生計維持者欄①②に父母のいずれかのみ、または父母以外を記入している場合は、下記のうち当てはまるものに✓をしてください

父または母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由	☐ 父（母）と死別した	☐ 父母の離婚等により、父母のいずれかと別生計である	☐ 父（母）が生死不明、意識不明、精神疾患のため、意思の疎通ができない	☐ その他
生計維持者に父母以外の人を記入した理由	☐ 両親（父母）と死別した	☐ 両親（父母）が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない	☐ 本人が結婚しており、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されている	☐ その他
生計維持者を本人（独立生計者）とした理由	☐ 両親（父母）と死別し、親族からの経済的支援を受けていない	☐ 父母・祖父 母ともに死別し、兄弟姉妹は就学中もしくは病気などの理由で働くことができない	☐ 本人は結婚しており、配偶者等を扶養している	☐ その他

裏面へ続く→

生計維持者の扶養する子どもの数

「子ども」の数の対象者は**2025年12月31日時点**で、生計維持者（原則、申込者の父母）のそれぞれが住民税の扶養親族としていたる人の合算です。ただし生計維持者よりも**年長の人や尊属の人、配偶者は対象外**となります。下記の図を参考にしてください。 **申込者本人が扶養から外れている場合は大学無償化の対象外**となります。



◆上記を踏まえて生計維持者が2025年12月31日時点で扶養していた「子ども」の数を記入してください。

人

◆生計維持者が扶養する「子ども」の内訳を、6人まで記入してください。 ※年齢は申込時の年齢を記入

どちらかに○					
1	申込者本人	大学生・短大生	(歳)	4	(歳)
2	記入例：申込者の兄 大学生 (21歳)		(歳)	5	(歳)
3	記入例：申込者の妹 高校生 (17歳)		(歳)	6	(歳)

※生計維持者の実子で2026年1月1日以降2026年8月31日までに生まれた新生児がいる場合は「子ども」の数に入ります。

該当される方は、別途手続きがありますので申し出てください。

◆奨学金申請にあたって以下の内容を確認し、✓を入れてください。また、学生本人が署名してください。

- ☐ 奨学金申込において、大学が指定した日までに手続が完了しない場合は辞退となります。
- ☐ 奨学金申込書の記載内容について相違ないことを誓約します。
- ☐ 採用になった場合には、手続書類を期限までに必ず提出します。
- ☐ 採用後に、著しい学業成績不振の場合、多子世帯を含む修学支援（給付・減免）は、経済事情、扶養状況を問わず廃止となり、返還が必要であることを理解しています。

2026 年 月 日

本人署名 (本人自署)	学籍番号
	氏名